

# ちえーずーていんばーでー

令和元年5月12日

vol.25

## ヤンゴン日本人学校

武山 公之

# 『心魂プロジェクト』

みなさんこんにちは。早いもので新年度も一月を過ぎ5月。そして「平成」が終わり「令和」となりました。来年度には東京オリンピックも開催されますね。2年も日本を離れていると、その変化の速さにびっくりです。こちらの生活はというと、3度目の暑季を迎えてテインジヤンがやってきました。昨年、一昨年と一つだけ違うことは…今年はSNS上に武装組織の声明文が出たため日本大使館から注意喚起の文書が出され、テインジヤンの参加を自粛したことです。今年も水かけブースではミャンマー人たちが楽しそうに水かけをしていましたが、何が起こるか分からないのが外国での生活。今年はそんな光景を移動中の車中から眺めるだけにしました。



無事何事もなく迎えた新年度。今年の私の担当は『中学部3年担任』、『進路指導主事』、そして『中学部主任』となりました。日本人学校の生徒は日本全国から集まっている子どもたちです。そのため進路も様々です。1人ひとりが自分の希望を叶えることができるよう、精一杯頑張りたいと思います。



そんな中、先日『芸術鑑賞会』が行われました。パフォーマンスしてくださったのは日本の『心魂プロジェクト(<https://www.cocorodama.com/>)』のみなさんです。今年で3回目のヤンゴン日本人学校での公演、そして1年ぶりに中学部の生徒がワークショップをしてくださり、本番で共演もさせてくださいました。当初ワークショップは予定されていなかったのですが、昨年の子ども達がワークショップを経大きく成長したのを見ていたので校長先生を通してお願ひし、実現していただきました。子ども達はそれを知りませんでしたが、ワークショップの場で全員真剣に練習に取り組み、そしてその後予定されていた部活動を返上して全員で練習に励みました。その成果が実り、本番では全員が精一杯自分を表現して踊ることができました。ワークショップをしてくださって本当にありがとうございましたし、一生懸命に動く子ども達を見ていて、胸がとても熱くなるのを感じました。

に触れた話もあり、『間の人がいつも行っている仕事のひとつのようなオーダーをして来られたら私はすぐにお断り致します。逆に間にに入る方の本気を感じたら、私は必ず実施できるよう手だてを探します。本気×本気。』と結んでありました。寺田さんの熱い心に本当に感謝です。

ヤンゴンでの生活も3年目となり、1日1日がカウントダウンだな…と感じながら過ごしています。そんな中、学級を持ち子どもたちと一緒に1年過ごすチャンスを与えてもらいました。「この子達のために自分は何ができるだろう」と思った中での行動でしたが、とても大きな実りとなりました。『人の心を動かすことができるのは人の心』。私が尊敬する先輩の先生が常常おっしゃっていた言葉です。そういう姿勢を言葉だけでなく行動で子ども達に示せるよう、この1年頑張っていこうと心に誓いました。



それではまた来月こちらでの生活の様子を報告します。